

別添様式

都道府県、政令市名	横浜市		
基金の名称	環境保全基金		
基金の目的	地域に根ざした環境保全活動を展開することにより、良好な環境の保全・創造を図る		
28年度末基金総額(a=b+c+d+e)	832,129,150	27年度末基金総額	883,746,215
うち国費相当額(b)	200,000,000	▲28年度基金執行額	▲ 57,537,097
うち地方負担相当額(c)	632,129,150	28年度基金運用益	173,157
うち運用益(国費相当分)(d)	0	28年度その他造成額	5,746,875
うち運用益(地方負担相当分)(e)	0		

基金事業の概要及び執行額の内訳

1 生物多様性横浜行動計画推進事業	
執行額	1,666千円(うち基金充当額 997千円)
目的	市民の生物多様性に対する理解促進、市民による生物多様性の取組に対する支援を実施する。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育出前講座の実施:7,552人受講 ・環境保全活動団体助成金の交付:2団体へ交付 ・第23回環境活動賞表彰式、発表交流会の実施:17団体を表彰(平成28年6月14日開催)
公募状況	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市環境保全活動団体助成金交付要綱 募集期間:平成28年5月23日～平成28年12月7日 審査基準:要綱に基づく 審査体制:横浜市環境保全活動団体助成金審査会にて審査 ・横浜環境活動賞実施要綱 募集期間:平成27年10月23日～平成27年12月11日 審査基準:別紙のとおり 審査体制:横浜環境活動賞審査委員会にて審査
2 山下公園前海域水質浄化事業	
執行額	321千円(うち基金充当額321千円)
目的	きれいな海を取り戻すため市民・企業等と連携し横浜港の水質浄化に取り組む。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○山下公園前海域 市民に身近な海辺空間再生の検討 (1)JFEスチール(株)との鉄鋼スラグ再生品等による生物生息環境の改善に関する共同研究として生物生育環境改善による効果のモニタリングと評価を実施。 (2)海域浄化の普及啓発として、国際トライアスロン関係イベント等への出展、小学校での出前事業を実施 ○野島海岸での市民協働による再生プログラムの検討 ・金沢水の日(イベント)の後援、出展(H24～)を実施
公募状況	

3 生物多様性横浜行動計画 調査	
執行額	8,003千円(うち基金充当額7,987千円)
目的	各種生物調査を実施し、生物多様性確保に向けた各種施策の基礎的資料とする
期間	通年
実績	<p>○生物生息状況モニタリング調査</p> <p>(1)海域定点(10箇所)での生物生息状況調査(秋季、冬季)を実施</p> <p>(2)アユ等の生息状況の調査を実施。</p> <p>○市民協働による陸域生き物調査</p> <p>(1) 専門家による陸域の生物生息状況調査(大岡川流域)を実施</p> <p>(2) 教育委員会事務局等と連携し、小学生対象の生き物アンケート調査、こども「いきいき」生き物調査(162校・10,984人参加)を実施</p> <p>(3)生物環境情報整備事業</p> <p>ICTを活用した生物情報の収集、情報提供についての検討を実施。生物調査関係の報告書リストの作成。研究所調査のデータベース化を推進。</p>
公募状況	
4 生産環境の整備と支援事業	
執行額	189,707千円(うち基金充当額25,000千円)
目的	農業生産環境を整備し、都市と調和した良好な営農環境及び農景観を保全するために実施(本基金充当対象は金沢区臨海部における事業のみ)
期間	平成28年5月31日～平成29年3月28日
実績	法面防護施設整備
公募状況	
5 公園維持管理事業	
執行額	6,462,904千円(うち基金充当額19,896千円)
目的	横浜市で管理する公園は市内に約2,650か所ほどあり、公園を市民が安全かつ快適に利用出来るように管理することを目的とし、草刈・樹木の剪定等様々な維持管理を行う
期間	通年
実績	<p>市内公園(金沢緑地等)の維持管理業務</p> <p>伐採・抜根 546千円</p> <p>草刈り 1,434千円</p> <p>その他、巡視・処分経費など</p>
公募状況	

6 横浜型エコスタイル推進事業	
執行額	1,247千円(うち基金充当額 1,247千円)
目的	横浜らしいエコライフスタイルの普及につながるためのプロモーションを展開する。
期間	通年
実績	(1)生きもののつながりキャンペーン ヨコハマ環境行動フェスタ開催(平成28年6月25日 約2,000人来場) 市立図書館にて生物多様性及び環境に関するパネル展示等を実施 (2)こども『エコ活。』大作戦! 小学生が夏休み中に、エコライフチェックシートを使用して家庭・地域で環境行動(省エネ、生物多様性、3R)に取り組む(市内226校、38,383人参加) (3)こどもエコフォーラム 市内の小中学生が環境に関する調査や活動を発表 (4)連携広報活動支援事業 環境啓発ポスターの作成、各種イベントにて環境に関する取組をPR
公募状況	
7 水産区域管理費	
執行額	2,218千円(うち基金充当額1,899千円)
目的	市民に安全で快適な海浜環境の場を確保するため、漁港管理者として、柴・金沢漁港の水域を適切に管理します。
期間	通年
実績	①柴・金沢漁港海上清掃業務 年4回 ②野島海岸アオサ清掃業務 年8回 ③漁港区域内の放置艇への指導・監督(指導 年2回) ④水産団体への負担金等(3団体)
公募状況	
8 繁殖センター管理運営費	
執行額	52,778千円(うち基金充当額15千円)
目的	希少動物の飼育、繁殖及び調査研究を目的とする繁殖センターの管理運営事業
期間	通年
実績	繁殖センター管理運営事業の事業普及活動費に充当 繁殖センター科学スクール(28年7月22日～24日):参加者34名 一般見学(通年):参加者75名、特別公開(10月15日～10月16日):参加者108名 学生実習(5月23日～5月25日):参加者20名
公募状況	

(事業の数に応じて適宜欄を追加)